

# 10月の行事案内

- 10月12日(土) 17:00~18:30 ショウドウツバメのめぐり入り観察会  
※雨天時は10月19日に延期
- 10月13日(日) 10:00~12:00  
バードウォッチング入門⑦ ~秋の渡り鳥を観察しよう~
- 10月20日(日) 9:30~12:00  
子どもレンジャークラブ⑦ ※会員制のため、会員以外の参加はできません
- 10月27日(日) 9:00~16:00 きらら浜自然観察公園ふれあいまつり

※ 特別記載のない行事は、開始30分前から開始時間までに集合・受付を済ませてください。  
※ 参加料は無料ですが、ビジターセンター入館料200円が必要です(18歳以下無料)。  
※ 双眼鏡は公園で無料貸出しを行っています。

## ★★ 土曜・日曜・祝日イベント案内★★

### ★ バードウォッチング (11:00~12:00)

レンジャーと一緒に公園内を歩いて鳥などの生き物を探します。  
(雨天・荒天時や行事と重なる場合は中止します)

### ★ 楽しい工作教室 (14:00~15:00)

自然の素材などを使って色々な工作を作ります。  
9月は「どんぐりシギ」です。



工作「どんぐりシギ」

### ★ 楽しい紙芝居 (15:00~15:30)

きらら浜の生きものが主人公の楽しいお話です。  
クイズもあるよ!

### ★ ビデオ上映 (15:30~16:00)

公園内で観察できる鳥たちの様子や、四季折々の野鳥ビデオを上映します。

## ★お知らせコーナー★

●ラジオ放送 KRY山口放送(5週おき9:40頃)で、公園の様子をお伝えします。次回は10月5日(土)です。

\*\*\* 山口県立きらら浜自然観察公園 NPO法人野鳥やまぐち \*\*\*

- 住所 〒754-1277 山口県山口市阿知須 509-53 ● TEL 0836-66-2030 ● FAX 0836-66-2031
- ホームページ <http://kirara-h.com/> ● フェイスブック <https://www.facebook.com/kirarahama>
- Eメール [kirara-m@gaea.ocn.ne.jp](mailto:kirara-m@gaea.ocn.ne.jp) ● 休園日 毎週月曜日(休日の場合は翌日)・年末年始(12/28~1/4)
- 開園時間 午前9時~午後5時 ● ビジターセンター入館料 200円(18才以下無料。20名以上の団体は1名160円)

# きらら浜自然観察公園だより

2019年 9月号 No.221



←アオアシシギ



ソリハシシギ→

9月の見どころは  
シギのなかま



シギのなかまの多くは、夏にはシベリアなどの北の国で子育てをし、冬はオーストラリアなどの南の国ですごすので、日本では渡りの途中の春と秋に見ることができます。園内では干潟を利用する種が多く、満潮の時には水べで休み、干潮になると干潟のカニや小魚を食べるためにやってきます。

シギのなかまは、種類によってくちばしの形がちがいます。上や下にまがっていたり、まっすぐな種類もいます。これはエサとなる生きものの巣穴の形に合わせていると考えられ、見分けるときのポイントにもなります。干潟でシギを見かけたら、エサをとる様子や種類によるちがいをじっくり観察してみましょう。

## 9月の行事

# 鳴く虫観察会

9月21日(土) 18:00~20:00 ※雨天中止

夜の公園は、虫たちの美しい鳴き声でいっぱいです。スズムシやマツムシ、コオロギなど様々な昆虫の声が聞こえますが、どうやって鳴き声を出しているのでしょうか? 普段入ることのできない夜の公園を歩きながら、レンジャーと一緒に鳴く虫たちを観察してみましょう。



※ 19歳以上の方は入館料200円が必要です。

9月の行事は次のページにもあるよ

# 9月の行事案内

8日(日) 10:00~12:00

バードウォッチング入門⑥  
～渡り途中のシギ・チドリ類～

子育てを終えたシギやチドリが南へ渡る途中に、干潟に立ち寄る様子を観察します。雨天時は室内からの観察となります。

子どもレンジャークラブ⑥～シギ・チドリをしらべよう～は、9月15日(日) 9:30~12:00です。ただし、会員制のため会員以外の参加はできません。

- ※ 特別記載のない行事は、開始30分前から開始時間までに集合・受付を済ませてください。
- ※ 参加料は無料ですが、ビジターセンター入館料 200円が必要です(18歳以下無料)。
- ※ 双眼鏡は公園で無料貸出しを行っています。

## どんな行事だった?

### 子どもレンジャークラブ④

7月21日(日)は子どもレンジャークラブの活動日でした。今回のテーマは干潟の生き物でしたが、あいにくの雨だったので、屋内で干潟にいる生き物についてチームで調べて発表しました。最後に干潟の役割についてみんなで考え、生き物にとって大切な場所だということが分かりました。



### 夏休み子ども早朝観察会

7月28日(日)に、夏休み子ども早朝観察会を行いました。当日は風のない暑い日でしたが、子どもたちは元気いっぱいでした。園内を歩きながら公園の環境や生きものの説明を聞き、公園の隣の干拓地では虫捕りも行いました。最後に保護ケージのクロツラヘラサギを見て戻りました。



## レンジャーからの挑戦状!

公園の生き物についてのクイズです。全問正解すれば、キミもレンジャーになれるかも。さあ、何問わかるかな?

- カブトガニはからをぬいで大きくなる生きものですが、大人になるとオスとメスどちらの方が大きくなるのでしょうか?  
① オス      ② メス      ③ どちらも同じ大きさ
- アカテガニは夏の大潮の日にたまごをうみますが、どこでうむのでしょうか?  
① 海岸      ② 土の中      ③ 木のみきの中      **こたえはウラにあるよ**

## レンジャー絵日記



七月二十日(土) 雨  
台風が近づき、強い風と大雨が降る中、干潟でウミネコが飛来しました。ウミネコは三日月湾のまわりの海岸でも見られるので、この日はモメのなかま、台風の影響で強い風や高い波が打ち寄るため、園内には飛来しませんでした。あんなに暑い日でも、あんなに涼しい日でもありません。

## きらら浜の自然情報



オオマツヨイクサ

マツヨイクサ

夏から秋にかけて、マツヨイクサのなかまの花が見られるようになります。園内で見られるマツヨイクサのなかまにも色々ありますが、4まいの黄色の花びらがとくちょうで、夕方から花がさき、ガなどの夜に活動する昆虫がみつを食べにきます。さいた花は次の日の昼にはしぼんでしまうので、朝早くの園内で観察してみましょう。

山口湾周辺で冬鳥のクロツラヘラサギがのこっています。しゃもじのような黒色のくちばしがとくちょうで、名前にサギとついていますがトキのなかまです。冬をすごすために10月ごろになるとわたってくるので、この時期に見られることはあまりありません。園内の干潟でもエサをとったり、ダイサギのむれといっしょに休んでいたりするので、さがしてみてください。



ダイサギにまじる↑  
クロツラヘラサギ

## きらら浜の野鳥図鑑89

### ツバメ 全長17センチ

子そだてのためにわたってくる夏鳥で、春から秋に見られます。たてもものかべなどに、どろとかれ草を使っておわんの形の巣をつくり、子そだてをします。園内のヨシ原では夏から秋の間、夕方になると子育てをおえた親鳥や巣立ったヒナが集まって夜をすごします。

